

館山の海を愛したジャック・マイヨール

人生哲学伝えるメッセージ展

館山病院で

館山の海を愛したジャック・マイヨールさんのメッセージ展が、館山市長須賀の館山病院ギャラリーで始まった。誰とも争わず、自然と調和するイルカのように生きようという人生哲学を提唱したマイヨールさん。「ジャックの思いを伝えたい」と親交の深かった同市坂田のダイビングショップ代表の成田均さん(69)が、書き留めたメッセージを展示している。

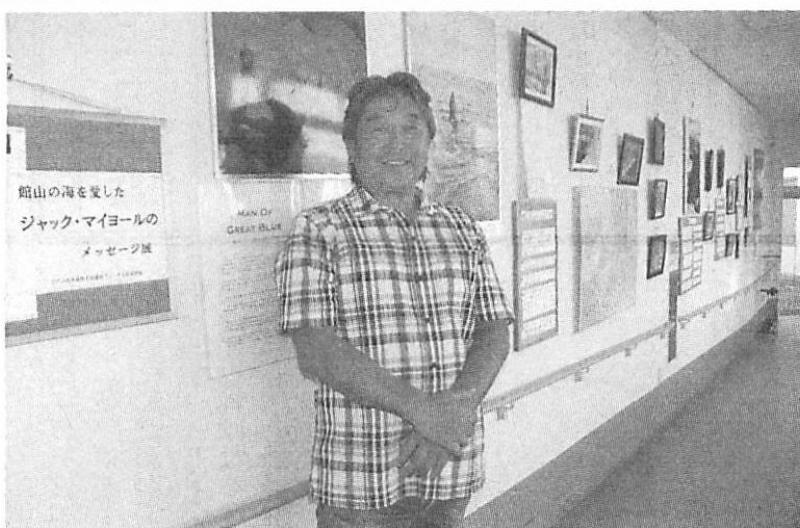
27年(2001年)は、フランスのフリーダイバー。人類で初めて水深100㍍の素潜り記録を達成し、映画「グランブルー」のモデルとしても知られる。

「国籍の違う弟」と慕つた成田さんは30年以上の親交があり、晩年は成田さんとの縁で館山で暮らし、館山の海を愛した。イルカを愛し、人間との共存を訴えたマイヨールさんは、人間(ホモサピエンス)とイルカ(ドルフィン)からどうた「ホ

「もし人間の思考と精神、われわれの兄弟であるイルカ達のインスピレーションが少しでも戻ることができたらうれしい」と語った。また、「もしもたらなら、傷付けてしまった我々共通の惑星地球は、またパラダイスに戻ることができただろう」と

「全ての生命は母なる地球の子どもたちである。一番末っ子の一番能力があるはずのわれわれ人間が、実は一番母親を傷つけているのではないだろうか」などマイヨールさんの世界観を感じさせるメッセージが数多く紹介されている。

成田さんは「ジャックは『人間だけが自分勝手でいいのか』と、利害にとらわれず、自然と生きるイルカの生き方を純粹な思いで実践してきた。将来的には理念を伝える



メッセージ展を開く成田さん=館山病院で

展示は10月2日まで。